

見ぬま田んぼ

野草スケッチ「ホトケノザ」(仏の座)

分類：シソ科オドリコソウ属

花言葉：「調和」「輝く心」



2011.10.14 武蔵野線東浦和駅近くのトンネル付近にて

早春の道端や田畑など、あちこちに生息している野草です。しかし晩秋の日当たりの良いところにも寒くなる季節にも関わらずよく見ると小さな紫色の花を付けています。春には田畑の脇一面に紫色・ピンク色の絨毯を広げたような景色が見られます。「本種は食用ではないため注意を要する。春の七草の1つ「ほとけのざ」が挙げられるものの、これは本種のことではなく、標準和名をコオニタビラコというキク科の草である※」とのことです。



※



ホトケノザ

世界：	アジアやヨーロッパ、北アフリカなどに広く分布
生育地：	北海道以外の本州、四国、九州、沖縄に自生する。道端や田畑の畦などによく見られる野草
根・茎 丈：	10 - 30cm
葉	葉は対生、縁に鈍い鋸歯がある、下部には葉柄を持つ円形、上部では葉柄はなく茎を抱くように真ん中で合わさって丸くなる。
花期：	3月から6月
花・花色：	2 cmほどの紫で唇形状の花
種子：果実	白い物質が付着、アリが好むエライオソームと呼ばれる物質が含有があり、コアリによって遠くまで運ばれる、
特徴：	白い花をつけるものもあり、シロバナホトケノザと呼ばれる。
由来・備考	本種ホトケノザは、茎に対生する葉が丸く広がり、その上に花が咲く様子を蓮華座と仏像にたとえたものである

※印 写真・解説：：ウィキペディア、よりお借りしました。

植木 2023. 12. 6